



寄り添う

'25 政治・経済、そして広告を若干占う

明けまして おめでとうございます。
ご家族皆様、愛に満ち満ち、笑顔で
新年を迎えられたことと拝察致します。
旧年の倍のご指導、
ご鞭撻をお願い致します。

それ恕なり 上機嫌ですか

手元に、1年間持ち歩いたポロポロのファイルがあります。去年の年頭、わたしは「それ恕なり」と抱負を述べました。孔子が高弟子に向かって「一言、生涯を貫き通すべき言葉はありますか」と問い、子曰く「其れ恕か」と答えます。2024年の1年間、この論語の一説を携えて「思いやりの心」を追求しました。

そして、中広グループ全メンバーには「あなたの抱負を教えてください」と伝え、450名を超す仲間から返事が届き、それをファイルし何度も読み返してきました。これは仲間との「絆」を深めた私の宝物であり、共に生きるための貴重な財産です。頑張った仲間一人ひとりに心から感謝いたします。

上機嫌ですか。上機嫌かどうかは、あなたを生かしてくれているあなたの周りの人たちが決めるものです。新しい年にふさわしい新しい覚悟、上機嫌で生き抜こうではありませんか。

アメリカ・ファーストに 翻弄される政治経済

世界の政治は間違いなく、米国トランプ大統領の動きに左右されるでしょう。カナダのトルドー首相と面談したトランプ次期大統領は、いきなり「米国の51番目の州になってはどうか」と呼び掛けました。びっくりです。この吸収合併の本気度はわかりませんが、日本のメディアは真顔で報じました。日本も?

そして、日本経済。円安が象徴するように、確実に日本の国力は衰えています。昨年、小売流通の最大手セブン&アイ・ホールディングスが、カナダのコンビニ大手から買収提案を仕掛けられたように、日本の優良企業が海外の投資会社を買収される件数が増加するでしょう。海外の投資家からすれば、世界に冠たる技術と経験を持つ日本の優良企業は安い買い物なのです。

しかし、日本製鉄によるアメリカの大手鉄鋼メーカーUSスチールの買収計画は、バイ

デン大統領が正式に阻止する意向を発表していました。日本買は奨励されますが、日本の米国企業買収は許されません。実に不合理ですが、これが日本と米国の力関係です。

トランプ大統領のアメリカ・ファースト。米国が良ければすべてよしという外交政策により、2025年からの4年間、日本経済はもとより世界経済は米国に翻弄されるでしょう。

国民が政治家を育て 日本政治を変える

2025年は戦後80年、昭和100年です。昨年10月の総選挙で、日本政治はハング・パラメント状態になりました。今年7月の参院選挙では、衆参同時選挙の可能性がありますが、自公政権が過半数を維持する保証はありません。参院もハング・パラメントになるかもしれません。そうなりますと、どの政党が政権を握ろうか、与党は野党との熟慮運営を余儀なくされるでしょう。長い間議論してきた憲法改正問題も、実質的に議論がスタートす



寄り添うタンチョウヅル

るのではないかと、政治の大きな節目になるのではないかと、思っています。

政治に対して日本国民は、「耐えて育てる」努力をする必要があります。短絡的にならず、何がファクトで何がフェイクかを見分け、政治の混乱に耐えなくてはなりません。そして40代、50代前半の若い優秀な政治家を育てていく。これが日本政治を変える肝です。

戦後80年、過去の因習やしがらみ、政治はがんにがらめです。指導者となった若い政治家たちによって、新しい政治の扉が開くことを期待しています。既得権益にしがみつくと政治屋から、国民に寄り添う若いリーダーの時代になる。そうあれとの希望を込めて予想します。

広告そのものが コンテンツという時代

オールドメディアで育ったオールドアドマンが語るに忍びないですが、今年はオールドメディア終焉への序曲と言えましょう。新聞購読部数の減少、若者のテレビ離れ、現実の流れを止められません。取って代わったのがSNS。主要なプラットフォームを利用して、広告主のリーチ範囲を広げ、圧倒的な拡散となります。

そもそも広告は、媒体のコンテンツの一つとして扱われてきました。それが「広告は広告」として独立した媒体が評価される時代になり、広告そのものがコンテンツという時代になるでしょう。

我が社が発行するHAPPY MEDIA「地域みっちゃく生活情報誌」は、この「広告そのものを扱う媒体」の典型です。一軒一軒、無料(フリー)で各戸配布、地域に密着した到達率の高い広告媒体は、決して新しい広告手法ではありません。むしろ、オールドメディアです。でも、なぜ今、「地域みっちゃく生活情報誌」は見直されているのでしょうか。理由は二つあります。一つは添付されたQRコードを読み取れば、ネット上の情報を入手できること。もう一つはSNSと相性がとても良いからです。'25 中広グループは、広告効果の高いハイブリッド広告を極めることとなります。

諦めない力 寄り添うところ

4月に私は、日本国際博覧会(大阪・関西万博)へ行きます。1970年の日本万国博覧会(大阪万博)では、イベントの面白さや凄さを知り、未来を夢見ることができました。今年の大阪・関西万博には、世界各地から未来への最新の叡智が集まります。時間が許す限り、中広グループの仲間たちと一緒に世界の未来を覗いてみようと思っています。

我々は日本全国1,350万以上の世帯に情報誌をお届けしています。このインフラを活用して地域や社会課題に対して、本気に、ど真剣に立ち向い、諦めなければ必ず道は開ける。そう私は信じています。しかし、いくら努力しても絆を深めても、人と人が繋がっても容易に解決できないこともあります。そんな困難に対峙するときは、静かに寄り添える2025年でありたいと思っています。

2025・元旦・新年の寿きに感謝して。如水こと二代目・後藤敏次

大島社長が語る2025年、中広グループの抱負

「AI元年」で期する飛躍

「全員経営」をテーマに、「Data Driven」をスローガンに掲げ、文字通り社員一丸で走り始めた第47期も4分の3が終わり、2025年の幕が開けました。変化の激しい時代にあってもぶれることなく広告と情報の力による地域活性化を目指しつつ、進化を続ける中広グループの2025年の展望と豊富について、大島社長に話を聞きました。



代表取締役社長 大島 斉



CHUCO Artificial Intelligence
CHIKI Artificial Intelligence 解

「地域 (Chiiki) に最適化するよう」中広 (Chuco) が開発した「AI」で、広告活動に「解」を提示していくシステムを目指す、という理念を名称に込めました

を踏んで発展しましたが、2015年に米国で創業したOpenAI社がブレークスルーを起こし、爆発的に世の中に広まりました。今や同社が提供する生成AI、ChatGPTのユーザー数は世界で23億人を超えと言われており、WEB検索機能や企業HPの問い合わせなど、身近に触れる機会も増えました。

中広では今期掲げた「Data Driven」のスローガンのもと、独自AIの開発を昨年中から進めてまいりましたが、2025年、いよいよ『地域みっちゃく生活情報誌』の制作に実装する準備が整いました。

私たちにしかできない 本気の地域活性化のために

中広独自のAIは「CAI(解)」と名付けました。CAIは社内の広告原稿制作に使用する生成AIですが、導入する目的は主にふたつあります。ひとつは、より付加価値のある高品質な広告原稿をつくることです。AIが膨大なWEB情報を学んで原稿を生成するので、担当者はもちろん、広告主である企業や店舗ですら気づかなかった魅力にクローズアップしたり、固定観念から脱却した新しい切り口の原稿制作を可能とします。

もうひとつは生産性の向上です。AIによって原稿制作の時間を短縮することで、生産効率は10倍に跳ね上がるかと試算しています。

これによって生み出した時間は、より地域を深掘りし、読者に満足いただくためのクリエイティブに向け、情報誌を磨き上げたいと考えています。

CAIは単なる業務用生成AIとして、社内でも実装して終わりではありません。今後はVC加盟社への提供も行う予定ですが、最終的には文章データと反響データを蓄積し、地域ごとの嗜好性や特性、店舗属性ごとの反響傾向などを分析するマーケティングツールにまで発展させ、ハイブリッド広告との連携も計画しています。そして得られたデータは、地域の企業や行政など、地元を盛り上げたいと奮闘している皆様に提供することまで視野に入れています。

我々の使命は、地域を元気にすることです。AIは手段であって目的ではありません。AIを活用することで、私たちの情報誌はさらにローカライズされ、より深く太く地域に根差し、地域ごとの土の香りのする情報で満たされ、もっと地域活性化に寄与することが可能になります。『地域みっちゃく生活情報誌』を深化させるためのツールなのです。

2025年、AIを手にした私たちは、私たちにしかできない地方創生を一所懸命に行っていく所存です。本年も変わらぬご支援の程、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

大島 斉

独自の生成AIを目指す 2025年の成長と飛躍

あけましておめでとうございます。おかげさまで、旧年中は多くのクライアント、読者、関係者の皆様に支えていただきました。厚く御礼申し上げます。

2024年、中広グループにはさまざまなトピックスがありました。第46期は、連結売上高が初の100億円を突破し、株主の皆様には当初予想を上回る配当金を報告できました。さらなる成長をお約束して走り始めた第47期。例年、広告閑散期として苦戦する5月度、8月度は早くから対策を講じ、上半期としては初めて連結売上高50億円超を達成。また、直営情報誌を5誌創刊し、各地で有力媒体を発行している企業様とVC*加盟契約を締結させていただきました。30周年を迎えた『地域みっちゃく生活情報誌』ブランドの総発行部数は1,350万部を超えるなど、一歩ずつ着実に前進を果たして参りました。

今年はこの成長を飛躍させます。その根幹を担うのはAIです。すなわち、2025年は中広の「AI元年」であります。

ご存知の通り、AI(Artificial Intelligence)とは一般的に人工知能と呼ばれる技術です。研究は1950年代から始まり、いくつかの段階

*VCとはVoluntary Chain(ボランタリー・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、志を共に協同で企画・編集・営業・運営する組織

導入記事付きの特集で新たな価値を提案

群馬県で発行する『高崎フリモ』『前橋フリモ』では、CSR活動の一環として毎年マラソン大会にボランティア参加をしています。今年は高崎市出身のK-POPアイドル、KENTAさんがゲストとして登場することから、取材交渉を行い、単独インタビューを実施。このインタビューを導入記事とする韓国特集を企画しました。



その結果、他のグルメやショップ特集では掲載に至らなかった店舗を含む、新規5件を紹介する見開き企画が実現。読者には地域ゆかりの著名人の活躍と、地元にながら韓国気分を味わうという楽しみ方を発信することができました。KENTAさんからも「子どもの頃から見ていたフリモで紹介いただけるなんて！」と喜びの声をいただきました。

この事例を糧に、今後も読者とクライアント双方にとってより魅力的な媒体を目指してまいります。

(高崎フリモ編集室・結城)

スキルアップセミナーで市民への情報発信を強化

当社は岐阜市とシティプロモーションの推進に関する連携協定を締結しており、市職員を対象としたスキルアップセミナーを実施しています。

5年目を迎える今回は、職員の広報力向上を目的に、イベントや募集事業の告知用チラシ作成時の一助となるセミナーを開催。約30名の職員が参加されました。前半の座学では、視線の流れを意識した配置の仕方や、メリハリのあるデザインによる効果的な視線誘導に関する知識を共有しました。後半のグループワークでは、事前課題を元に参加者が制作したチラシをグループで見せ合い、意見交換などを実施。座学で共有した知識を元に、どのグループも活発なアイデア共有が行われました。セミナー後には「実務に直結する大変有意義な研修だった」という感想をいただきました。

今後も包括連携事業を通じて、岐阜市とさまざまな連携をとり、シティプロモーションを通じて地域に還元していきます。

(クリエイティブ部・佐藤)



地域、店舗、読者が一体となるスタンプラリー

『さみっとくらぶ』12月号では、読者から好評いただいているスタンプラリー企画を実施しました。志摩市商工会とのコラボ企画は3年目を迎え、今年は掲載店舗が51店舗に増加。小売店から飲食店、サロンなど、さまざまなジャンルの店舗を掲載できました。また、地元の神社や観光協会にも協力していただき、「おまけスポット」として紹介。初詣の利用や地元の魅力を再発見するきっかけになればと願っています。

スタンプラリー企画は店舗側には反響が直接的で分かりやすく、読者側には参加型で楽しんでもらえるメリットがあります。これまでの参加者からは、「なかなか行けなかったお店を訪れるきっかけになった」「新たなお店が発見できた」「子どもとお店巡りをして楽しかった」等の感想が寄せられています。楽しみながら地域経済を活性化させる効果もあり、今後も恒例企画として、さらにパワーアップさせていきます。

(さみっとくらぶ編集室・山本)



『かにさんくらぶ』創刊30周年企画を実施

12月号で30周年を迎えた『かにさんくらぶ』。周年号は地域の皆さんとの絆が感じられる一冊にしようと、さまざまな企画を実施しました。

表紙には地域住民126人のスナップ写真を掲載した他、1998年～2007年に使用していたロゴを復活。昔からの読者には懐かしく、若い方には目新しく感じられるようにしました。

誌面では30年の歩みを振り返ると共に、地域のお店や企業からのお祝いのメッセージや、30周年を記念した特別なクーポン、1,463件もの応募をいただいた読者プレゼントコーナーなど、お祭りムード満載の忘れられない一冊となりました。

発行後は10代～90代まで多くの読者からお祝いのメッセージをいただき、改めて地域から愛される媒体をつくっていることを実感しております。これからも変わりゆく時代の潮流に合わせてながらも、地域に根を張った情報を届けてまいります。

(かにさんくらぶ編集室・光田)



『女子大小路の名探偵-新章-』が剛力彩芽主演で舞台化!

このたび、当社企画の舞台『女子大小路の名探偵 新章～『死は、ど真ん中に転げ落ちて』を3月、東京・銀座博品館劇場にて公演することが決定いたしました。

『女子大小路の名探偵』シリーズは、『アンフェア』『HERO』『サイレント・トーキョー』など、サスペンスやミステリーでヒット作を量産する作家、秦建日子さんの新作ミステリーです。「地元を題材にしたエンタメを生み出し、地元を盛り上げたい」と、当社が発行する『地域みっちゃんく生活情報誌』で長期連載をスタート。読者の皆さんから熱い支持をいただき、オーディオドラマ、オーディオブック、在名テレビ局の周年記念映画と多角的に展開してきました。そして2024年にはシリーズ最新作『新章』の連載が始動し、今回の舞台化へとつながりました。

舞台の主演を務めるのは、映画『女子大小路の名探偵』と同じく剛力彩芽さん。脚本と演出は原作者である秦建日子さんが担当。詳しくはオフィシャルサイトをご覧ください!

(クリエイティブ部・佐藤)



▲剛力彩芽さんが自身初となる舞台主演を務めます



詳しくは特設サイトをご覧ください



クリック

2024年度インターンシップを開催

今年度は新たに、大島社長が登壇して学生のポルテージを高めた上で、後に続く広告業界セミナーや企画立案グループワークをリニューアル。「今まで参加したインターンシップの中で一番の内容」などのうれしい反響が集まり、参加者40名の満足度平均は5.0満点中4.64と高い結果でした。

新卒採用競争は年々激化の一途にありますが、5,000万部発行に向けて新たな人材を獲得し、人財へと育てていきます。

(人財開発担当・延原)



▲横浜でも2日間、CMSと初の合同開催をしました

4年連続で成功!自治体広報誌とのコラボ

宮崎県都農町との連携による、ユニークな広報活動が4年目を迎えました。

『月刊パームス』では、都農町の広報誌を中綴じ別冊(16ページ)として年に一度掲載する企画広告を実施しています。これは、都農町で実際に配布される広報誌の内容を一部再編集し、町の魅力を発信するものです。

誌面では、都農町のグルメ情報や読者プレゼント企画を掲載し、毎年大きな反響をいただいています。今回も「今度、都農町に行ってみます」「都農町の取り組みに感心しました」といった読者の声が多数寄せられており、広告としてはもちろん、エリア特集のコンテンツとしても高い評価を得ています。この成功を受け、来年度のご掲載も前向きにご検討いただいています。



▲12月号掲載 中綴じ別冊表紙

FM事業部『かにさんくらぶ』編集室



▲『かにさんくらぶ』編集室のスタッフ

岐阜県可児市・美濃加茂市・御嵩町・八百津町・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・白川町・東白川村の10市町村に各戸配布している『かにさんくらぶ』。1994年、可児市で創刊し、地域の皆さんの生活をより豊かにする情報を発信し続けてまいりました。名古屋市のベッドタウンとして発展してきた可児市は移住者が多く、編集室には「引越してきたばかりで右も左もわからないときに、『かにさんくらぶ』が届いてうれしかった!」などの声が多く寄せられています。

発行エリアの中心には木曾川が流れ、美濃加茂市や御嵩町などの中山道宿場町は今でもその趣があります。自然や歴史を守りながら、新しい変化も積極的に受け入れる、そんな「不易流行」の地域です。

『かにさんくらぶ』編集室も若いメンバーからベテラン勢が揃い、切磋琢磨しながら時代のニーズに合わせた情報誌づくりに励んでいます。今後も地域活性化に力を注いでまいります!

(かにさんくらぶ編集室・光田)

編集後記

昨年はChatGPTに代表される生成AIの浸透を感じる一年でした。本年も生成AIは社会に大きな影響を与え、ビジネスにおいては業務効率化や創造性向上に寄与するでしょう。当社でも社内システムにAI(CAI)を導入し、新たな時間を手に入れる「AIエコノミー」を目指しています。その分オリジナリティや人間らしさの追求に費やし、顧客満足度向上へつなげていきたいと考えています。

生成AIの活用が新たな社会構造や経済モデルの形成を促進する一方、それに伴う規制やガイドラインの整備が不可欠です。その中で人間性の再定義が問われる年になるのではないかと感じています。弊社は、AIでは想像し得ないであろう「日本全国へ地域のHAPPYな情報を届けるポスティング網を敷く」という理想を掲げています。AIと人間が協働することでこの理想の実現を加速させてまいります。

(広報・マーケティング担当 岡本)

『ままこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
 【仕様】 冊子A4 オールカラー
 【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県



『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国
 【登録講師数】 7,000名
 【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営

クーポンアプリ『フリモ』

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

対応OS: iPhone: iOS14.0以上 Android: 7.0以上
 ※ダウンロード数 471,796件 (2024年12月18日現在)





情報誌の誌面からWEBへ！ハイブリッド広告の効果を解説 2024年の高レスポンス事例紹介

中広グループでは『地域みっちゃく生活情報誌』の誌面にQRコードを掲載することで読者をWEBに誘導し、情報の拡張を経て、高い広告効果を発揮させる手法「ハイブリッド広告」を推進しています。今回は2024年に誌面に掲載されたQRコードの解析結果をもとに、反響を期待できる広告誌面トレンドについて解説します。

QRコードの解析で得た 2024年の3つの傾向

中広グループではハイブリッド広告を推進するにあたり、QRコード読み取り数の多かった優良な原稿事例を共有する社内コンテスト「QRグランプリ」を開催しています。今回はこのグランプリで上位に入賞した原稿の傾向を分析し、高レスポンスの要因をひも解いていきます。

1 表紙で訴求することの重要性

2024年に実施した全QRグランプリを通して、顕著な傾向として表れたのは表紙の重要性です。表紙に直接QRコードを掲載した企画、表紙と連動した企画、表紙で撮影したお店の原稿の入賞率が非常に高い結果になりました。これは、表紙の持つ機能性に起因します。表紙とは言ってもなく読者との最初の接点であり顔です。一番目立つ表紙でしっかりと訴求し、興味を持たれた企画や商品は、読者が能動的に「読む」「情報を取得する」という意識になるため、QRコードの読み取り数も上昇するという事です。

事実、2024年は3回のQRグランプリの集計結果が出ていますが、すべての回において全国1位を獲得したのは、表紙と連動した原稿でした。また、表紙に掲載した商品はもちろんですが、表紙で大きくうたった企画からも上位入賞が多数出ています。

企画を先鋭化させてコンテンツ力を磨き、表紙でそれを訴求することが、雑誌を開く人を増やし、情報誌内の全ての広告反響を底上げすることにもつながるという証左にもなっています。

2 特別な体験に対しては 高額商品でも高反響に

ひと昔前までは、他店よりもいかに安いか、いかにお得かが反響を左右するポイントでした。今ももちろんその傾向はありますが、今回の検証からはそうではない傾向も浮かび上がっています。

例えば『緑区フリモ』8月号で掲載した専門店のかき氷は、旬のフルーツをたっぷり使用した商品で価格は1,600円と決して安くはないものの、1カ月のQRコード読み取り数は1,901回を記録しました。また、『Bellve club』6月号に掲載したレストランの素材にこだわったハンバーグも1,750円ながら1,140回を記録しています。



『緑区フリモ』8月号掲載のかき氷専門店。1カ月で1,901回の読み取り回数



『Bellve club』6月号掲載のレストラン。1カ月で1,140回の読み取り回数

どちらの原稿にも共通しているのは、この店舗でしか食べられない特別な体験を提供する商品を掲載しているということです。デフレに飲み込まれて周囲と歩調を合わせた価格設定とする代わりに、商品としての個性を犠牲にするのではなく、こだわりの買った結果として個性を磨き、消費者に特別な体験を提供できるのであれば、例え高額商品であっても読者の心を掴むことができ、全国トップクラスの反響実績を生み出せるという好例です。

今や若い世代や子育て世代を中心に「経験」は商品やサービス選びの重要なファクターになっています。幅広い世代が目を通す『地域みっちゃく生活情報誌』らしい傾向と言えるでしょう。

3 WEBの主流はInstagram

最後に、QRコードの接続先についてです。QRグランプリ上位入賞原稿の多くで、接続先になっていたのはInstagramであり、『地域みっちゃく生活情報誌』の読者の多くもInstagramを使用していることが証明されました。つまり、親和性が高いということです。



『ひまわりくらぶ』4月号掲載のパン店。接続先はInstagramで、10日間で1,038回読み込まれました

Instagramは現在、日本国内の月間アクティブユーザー数が6,600万人以上と言われています。だからこそ、膨大な投稿の中から顧客になるべき地域の消費者に情報を届けるのは容易ではありません。Instagramにも広告はありますが、地域や年齢をターゲットングすると費用が上がり、費用対効果の面から効率的ではない場合も多々あります。その点、『地域みっちゃく生活情報誌』のハイブリッド広告なら、一軒一軒手配りされた情報誌を手にした地域の読者が、誌面のQRコードを通してダイレクトに店舗や企業とつながることが可能です。つまり、Instagramを通して地域に知名度を浸透させる際、その発火点になりやすいということです。

中広グループでは、こうした紙とWEBをつなげるハイブリッド広告を推進しています。原稿を掲載してからがスタート。その結果をデータ的に分析し、しっかりと次の原稿づくりにつなげています。今後も高レスポンス原稿の要因を究明し、クライアントと読者にとってより良いものづくりを推進してまいります。

会社概要 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】
 創業 1978年
 資本金 4億430万円
 従業員 441名 グループ全体 676名 (2024年12月末現在)

事業内容 プリママガジン事業 イベント・セミナー事業
 セールスプロモーション事業 通信販売事業
 クロスメディア事業 VC事業 (ボランタリー・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に！)
社是 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に！)
 機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)
社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で！)
グループ会社 株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp
 株式会社ケイ・クリエイティブ http://www.k-create.co.jp
 株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp
 株式会社 関西ぼど https://www.kansaipado.co.jp

第47期 基本方針

スローガン Data Driven テーマ 全員経営

オフィシャル運営サイト

- 中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ (WEB)
- 講演会インフォ ●わくわく生活 (楽天) 他
- 販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE (情報誌見直し)
- ハッピーメディア●児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク (JLMN)

公式アカウント

- Facebook ●YouTube
- Instagram ●X (旧Twitter)

リンク集はこちら

加盟団体

- JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

2017年取得 **女性活躍推進法**に基づく「くるみん」認定企業です

2016年取得 **女性活躍推進法**に基づく「えるぼし」認定企業です

営業拠点

- 本社**
岐阜本社 岐阜市東興町27
名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
- FM・SP事業部**
《北海道》SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169
旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-8158
AO編集室 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704
《宮城県》とみいず！編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809
なうてい！編集室 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541
さきっぺ！編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792
《群馬県》高崎フリモ 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ] TEL.027-353-8714 [前橋フリモ] TEL.027-353-8711
伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117
桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635
《埼玉県》クッキーズとねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881
《東京都》東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
《福井県》きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622
《岐阜県》GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512
《愛知県》NAGOYA FURIMO 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111 [中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602
緑区フリモ編集室 名古屋市中村区六田1-150 2F TEL.052-829-0270
山山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F [守山フリモ] TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト] TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ] TEL.0561-42-6971
ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集室 愛知県東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ] TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ] TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ] TEL.0561-42-4885
Cocon club・ちるるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモかわ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077
リッパ！倶楽部編集室 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111
岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121
西尾フリモ・オレンジクラブ編集室 額田郡幸田町大字声谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763
名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139
《三重県》ほろんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988
- EC部** 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745
- 《愛知県》** 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562
つっぴ〜ず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666
リィーガクラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156
ふぁみんくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623
イセクラブ編集室 津市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282
からと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100
さみとくらぶ編集室 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201
三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562
《滋賀県》 ほとじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮町1161-7 2F TEL.0749-68-2577
福岡SP部 こんきくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555
アウトクラブ編集室 近江八幡市坂宮町289 3F TEL.0748-36-1148
湖南フリモ・甲賀フリモ編集室 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335
ひわごと編集室 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911
《奈良県》 かしらくらぶ編集室 橿原市葛木町260-1 1F TEL.0744-48-0606
《和歌山県》 まいなが・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630
《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0858-27-0510
くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510
こはくくらぶ編集室 米子市西原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400
《広島県》 はつつか編集室 廿日市市新宮2-110 1F TEL.0829-30-6673
《福岡県》 マイタウン西区版編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250
むなふ・おるね編集室 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ] TEL.0940-72-6101 [おるね] TEL.0940-72-6102
福岡SP部 [北九州SP課] 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-383-7581 [福岡SP課] 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-400-5955
《佐賀県》 月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619
《VC事業部》 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
- グループ戦略統括事業部** 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139
- 管理本部 経理部・総務人事部** 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課] TEL.058-246-0285
- グループ会社 株式会社関西ぼど** 本社 大阪市西区靉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113
北大阪支社 豊原市大町10-10 1F TEL.072-827-0817
東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101
株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支店 横浜市中区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267
埼玉支店 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238
仙台支店 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101
山形オフィス 山形市諏訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390
- 株式会社ケイ・クリエイティブ** 本社 一宮市木曾川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608
東尾張支社 岩倉市新柳1-50 2F TEL.0587-96-8331
株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳1-50 2F TEL.0587-96-8336

年	会社のおゆみ	HAPPY MEDIAのおゆみ
1978	設立 後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県「かにさんくらぶ」創刊 ●滋賀県進出
1997		
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出 ●50万部達成
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●福井県進出 講演会インフォ公式サイト開始
2008		●100万部達成 ●愛知県進出
2009		
2010		
2011	●児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始	
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始 (VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2013		●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2016		●高知県・福島県・長野県・京都府進出 [ままここと]創刊
2017		●東京都・愛媛県・静岡県・宮崎県・奈良県進出
2018	●児童虐待防止運動を全国へ展開 ●愛知県交通事故死者数 全国ワースト脱却CP開始	●三重県「三重量からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2019	中島永次社長就任 ●愛知県交通事故死者数 全国ワースト脱却CP達成	[Start!]創刊
2020	岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	クーポンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2022	大島善社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社ケイ・クリエイティブ/株式会社ケイビーエスグループ化	●神奈川県進出
2023	株式会社関西ぼどグループ化 ●児童虐待防止運動の一環で 井上つばねオレジンボール運動を開始	
2024	●児童虐待防止運動が 文部科学省と子ども家庭庁の後援が活動に	●広島県・秋田県・千葉県・岩手県進出

*従業員数はグループ会社含む ●おもなCSR・CSV活動 ●地域みっちゃく生活情報誌